

I 令和6年度 学校経営の基本方針

生徒一人一人の「自立と社会参加」の実現を目指し、生活に結び付いた具体的・実地的な活動を中心に置いて指導の効果を高めるとともに、生徒を中心に据えて保護者や関係機関と連携を図りながら最善の支援をしていく。そのために、職員間や生徒本人、保護者と、思いや願い等の情報共有、共通理解の徹底を図り、教育活動に生かしていくことが重要と考える。

組織の一員である自覚をもち、全職員による「和と協働」による活気ある学校づくり、「かけ算意識」による個々の役割や持ち味を生かした学校づくりに努めよう。

1 目指す学校像

- 教職員が生徒の成長を願い、自身とやりがいをもって働いている学校
- 生徒が笑顔で生き生きと活動し、できることが増える学校
- 自立と社会参加を目指し、障害特性や教育的ニーズに応じた教育を推進する学校
- 安全で、安心して学べる学校
- 保護者や地域、関係機関と信頼関係を築き、連携が図られている学校

2 目指す教師像

- 人間性豊かで、教育愛と使命感に満ちた教職員
- 生徒の指導に創意工夫を重ね、常に改善を目指す教職員
- 保護者や地域社会と連携し、学校経営に主体的に参画して責任を果たす教職員
- 連携、協働し、高め合うことができる教職員（チームワーク・同僚性）

3 主な重点事項

①個に応じた指導の推進

- ・「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」を活用し、全職員の共通理解のもとに継続的な指導に努める。

②社会的自立を図る教育の推進

- ・社会的に自立できる能力や態度、職業的技能の育成

③地域や関係機関との連携の充実

- ・関係機関との情報交換による支援の充実
- ・近隣の学校や福祉施設等との交流活動

④教職員の指導力向上のため、研修の充実

- ・育てたい力を明確にし、「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業改善
- ・障害についての理解とその指導法についての計画的・継続的な研修
- ・生徒の可能性を引き出す ICT 機器の活用

⑤保護者との連携を深め、共通理解に立った指導

- ・個別の指導計画の活用と指導内容の明確化
- ・個別相談の充実と家庭との共通理解に立った指導

⑥安全・安心な教育活動の展開

- ・生徒の障害や行動特性を考慮した安全な学習活動、指導体制の構築

【は】 たらく・ハッスル 【<】 じけずに 【れ】 いぎ 【い】 っしょに

【職員信条(県立高田特別支援学校初代校長 中村憲三先生)】

- (1) 常に歴史的流れと広い視野に立って、物事を考える。
- (2) 常に自然の美しさを見つめ、心身共に健康で潤いのある生活を営む。
- (3) 常に謙虚であって、自分の専門分野と教養を高めるよう努める。
- (4) 常に人の立場に立ち、愛情、寛容、公平を心掛ける。
- (5) 常に創造力を発揮し、積極的に職責を果たす。

※中村先生は、「①教員である前にまず豊かな人間性の持ち主であること。②広い視野を持ち、障害児教育の殻に閉じこもらないこと。③専門教科や特技の研究を深めること」とされ、一つでもよいから共鳴した項目を実践してもらいたいと願っておられた。この精神は是非、継承していきたいものである。